つるさき

社殿の説明を受ける参加者

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 482-0097
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

社殿建設現場見学会

三月二十二日、建築中の社殿の進行状況や伝統の神社建築の造りを公開する「現場見学会」を執り行った。

当日は、雨が降り出しそうな生憎の天気であったが、氏子内から七十名の方々が参加して、内部と屋根工事が行われている足場に十数名ずつに分かれて、宮大工の説明を聞いた。

内部では、虹梁（こうりょう）、柱、桁（けた）、貫（ぬき）、肘木（ひじき）、梁（はり）などの材質や、組み方等の説明が行われ、足場では屋根の造りを間近で見る事ができ、曲がり材の加工や取り付けの難しさなど、神社建築ならではの工夫の説明が行われ、湾曲した唐破風（からはふう）や大きく反り上がった軒先に参加者から感嘆の声が上がった。

また、四月九日には岡山県神社庁研修所主催の「神社建築研修会」が当社で開催され、県内外から四十五名の神職が来社し、実際の建築構造を見ながら講義が行われた。

神道Q&A

【質問】

今年は地区の神社の当番になっていますが、昨年親が亡くなっており、対処の方法がわかりません。

【答え】

親族が亡くなったとき、身内の者は喪に服しますが、これについて定めたものが服忌制度（忌服ともいう）で、「忌」とは故人の祀りに専念することを、「服」とは喪に従い、死者への哀悼の気持ちを表す期間のことをいいます。

戦前までは、江戸時代に武家の間で定められた服忌令が公的制度として用いられていました。

これによると父母の場合、忌の期間が五十日、服の期間が十三ヵ月と最長で、親族の範囲により期間が短縮されています。戦後、服忌令は廃止されましたが、実際には、明治時代の太政官布告にも定められていたように、現在に於いても服忌令が踏襲され、各地域の慣例となっているようです。

ここで重要なことは、服忌は「忌」と「服」の二種類あり、前述したようにそれぞれ意味が違うという事です。

一般の服忌については、実の親の場合は、亡くなった日から数えて五十日目までが「忌」の期間で、一年目までが「服」の期間と考えられています。

このため、「忌」の期間である五十日を過ぎれば、家庭の神棚の祭りを始め、神社の参拝などを再会しても差し支えありません。

「服」の期間は一年とされていますが、現在の生活状態に合わせ適宜短縮されているようです。

親以外の親族については、どのような血縁関係にあるかで、服忌の期間が変わって来ますので、市販の暦などを参考にするか、神社にお問い合わせ下さい。

また、忌の期間中は神社への参拝を遠慮しますが、やむを得ない場合は、お祓いを受けて下さい。

安原備中守の故郷歴訪

二月十四日、「石見銀山ガイドの会」三十名が、石見銀山の鉱山師として活躍した安原備中守（やすはらびっちゅうのかみ）の故郷である早島を訪ねた。

一行は、石見銀山を訪ねる観光客に同氏のより詳細な業績を語ろうと吉備津神社や供養塔、町歴史民俗資料館等を見学した後、当社に来社され同氏が中心となり、改築を行ったとされるご本殿を見学し、説明を受けた。

境内にて神社の説明を受ける石見銀山ガイドの会一行

社殿建設の様子

現在、屋根地工事もほぼ終わり、銅板葺きが行われています。

８月には足場が外され、社殿の全容が見え、10 月には竣工祭が行われる予定となりました。

ケヤキの柱、虹梁、象鼻、桝組で組まれた向拝

唐破風の破風板と裏甲

大屋根の隅木に組まれた茅負と垂木

大屋根妻部分に組まれた破風板と木連格子

唐破風の下から順に破風板、裏甲、軒付け、箕甲垂木

大屋根に脇殿、祝詞殿の屋根が複雑に接合する

大屋根に組まれた千鳥破風の破風板と木連格子

吉備津神社
屋根葺き替え竣工

当社のご祭神「大吉備津彦命」の勧請元である吉備津神社（岡山市北区吉備津）の社殿の屋根葺き替え工事が昨年十月完成し、遷座祭並びに竣工奉祝祭が執り行われた。

同社の本殿は、建築学上では比翼（ひよく）入母屋造りと呼ばれ、全国唯一の様式であることから「吉備津造り」とも言われる。

本殿の大きさは、桁行一四、六m、梁間一七、七m、棟高一二m、建坪七八坪の大建築であり、京都の八坂神社につぐ全国で二番目の大きさがあり、また出雲大社の約二倍以上の広さがある。

新しい檜の皮（檜皮葺）で葺かれ蘇った本殿

銅板寄進は六月まで

当社では、新しい社殿に葺く銅板のご寄附をお願い致しております。

締め切りが迫っております。最後の機会に是非お願いします。

銅板にはお名前等を記入していただいております。

一枚　二、〇〇〇円

神社社務所にて随時受付致しております。

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒・その他

◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・神葬祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祭事暦

五月十六日（土）［午後七時］
　春季大祭宵祭（露店あり）
五月十七日（日）［午前十時］
　春季大祭【供膳祭】
七月三十日（木）［午後五時］
　夏越祭【輪くぐり祭】（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭
※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。